

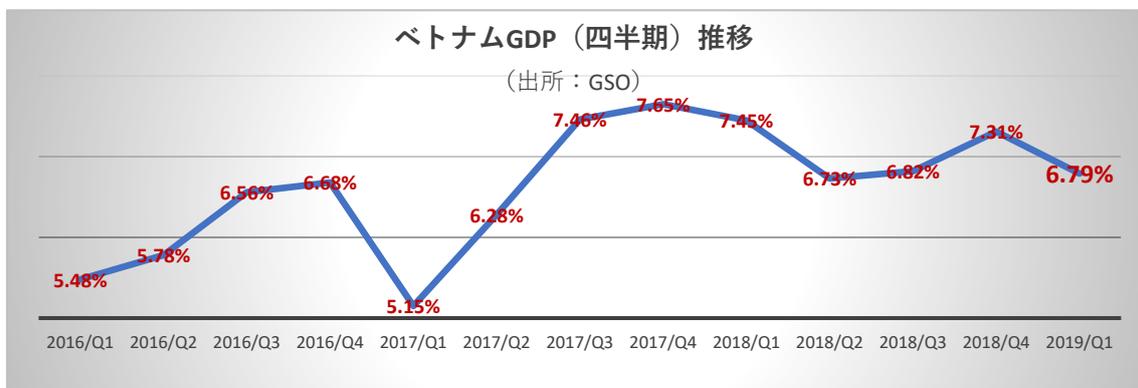


## <CAM ベトナム・リサーチ・レポート>

2019年4月3日

### 2019年第1四半期のGDP：前年同期比+6.79%（推定値）と堅調

ベトナム統計総局（GSO）が29日発表した2019年1～3月の同国実質経済成長率は前年同期比+6.79%（推定値）だった。2018年第1四半期の+7.45%からは減速したが政府の2019年目標（+6.6～6.8%）の上限に近い水準を維持している。減速の主因は昨年同期間の輸出が24.5%の伸びであったのに対し今年4.3%の伸びと低調だったことである。背景にはスマートフォン需要が世界的に落ちていることがある。



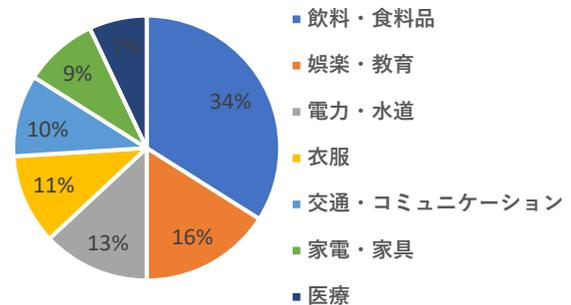
一方、国内向け消費財製造業が好調で、景気拡大を支えている。ここ数年個人消費や政府支出を含む最終消費支出が拡大してきた。所得・雇用が堅調に推移してきたことを受けて、食品・家具・家電の個人消費が伸びている。これら内需向けの製造業（前年同期比+12.4%）が好調である。

(10億ドン)

	2013	2014	2015	2016	2017E
最終消費支出(名目)	1,809	2,838	3,115	3,379	3,732
伸び率	16%	57%	10%	8%	10%
個人の消費支出(名目)	1,649	2,591	2,850	3,086	3,406
伸び率	15%	57%	10%	8%	10%
政府の消費支出(名目)	159.3	246.7	265.6	293.1	325.8
伸び率	23%	55%	8%	10%	11%

出所：GSO

消費者支出の構成（2018年9月現在）



出所：Vietnam Report

当資料は、情報提供を目的として、キャピタル アセットマネジメント株式会社が作成したもので、投資信託の売買を推奨・勧誘するものではありません。当資料の内容は作成基準日現在のものであり、将来予告なく変更されることがあります。当資料に市場環境等についてのデータ・分析等が含まれる場合、それらは過去の実績及び将来の予想であり、今後の市場環境等を保証するものではありません。当資料は当社が信頼性が高いと判断した情報等に基づき作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。



## 2019年第1四半期の貿易収支：米国向け輸出が+26%と急拡大

2019年1～3月期のベトナムの貿易収支は5億3,600万ドル（推定値）の黒字だった。GSO

によるとベトナムのスマートフォン輸出額（電話・電話部品）は前年同期比4.3%減の約120

2019年1～3月の主要品目の輸出

主要品目	輸出額（億ドル）	増減率（%）
電話・電話部品	120.5	-4.3
繊維・縫製品	73.0	13.3
電子・電子部品	69.3	9.3
履物	39.8	15.3
電線・ケーブル	39.0	5.2
木材・木工品	22.9	17.0
他	220.6	-
合計	585.1	4.7

出所：GSO

億5千万ドルであった（但し、輸出額全体の21%を占め、依然トップシェアを占める）。中国向けの電子部品輸出も減速し、中国向け輸出全体では約76億ドルで、7.4%減だった。（但し、輸入額は150億ドルでトップを維持した）一方、米国向け輸出は26%増の約130億ドルと急拡大した。

輸出で好調だったのは繊維・縫製品（+13.3%、約73億ドル）、電子・電子部品（+9.3%、約69.3億ドル）。

2019年1～3月 主要貿易国別 輸出入状況

国名	輸出額（億ドル）	増減率（%）	輸入額（億ドル）	増減率（%）
米国	130	<b>26.0</b>	30	11.8
EU	102	2.5	36	18.7
中国	76	-7.4	150	9.7
ASEAN	63	6	82	10.1
日本	47	9.4	47	5.6
韓国	47	7.7	118	1.1

出所：GSO

米中貿易摩擦の影響によって繊維業界で中国からベトナムへの生産拠点の移転が進んでいるとされ、ベトナムはアジアで米中貿易摩擦の影響の恩恵を最も受け、+0.5%の実質経済成長率押し上げ効果があるものとされている。

輸出における資本の内訳は外資系企業が+2.7%の414億5,700万ドル、国内系企業が+9.7%の170億5,600万ドルであった。

以上